



台湾から三島に研修生

来月末まで 水辺環境整備学ぶ

台湾の生涯学習機関「社区大学」の女性スタッフ2人が5月末までの1カ月間、住民や観光客が気軽に憩える機能を持った水辺環境整備の在り方を学ぶため、三島のNPO法人グラウンドワーク

水辺環境整備を学ぶ台湾の研修スタッフ(右から2、3人目) 三島市内

(GW)三島で研修を行っている。源兵衛川再生などの活動で実績のある同法人の渡辺豊博専務理事が社区大学でアドバイザーを務めている縁。GW三島によると、台湾国内では建設から50〜60年たった農業用水の施設が更新期を迎え、三島をはじめとした日本の整備事例を参

考にする雰囲気があるという。2人は張琬珮さんと曾佳琦さんと、環境美化の現場作業に当たる。張さんは「市民協働のノウハウを知りたい」と語り、2人の子どもを持つ母親という曾さんは「環境教育プログラムの手法を学びたい」と意欲を話した。(三島支局・河村英之)